

J O C S 祈りの花束

2022年3月

今月のことば: 主イエスは、あなたと御父との和解のためにご自分の血を流されました。それなのにあなたは、きょうだいと和解するために自分から声をかけることも、自分から会いに行くことも望まないのですか。」(ヨハネ・クリュソストモス 四世紀)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1 冬期募金のため	2 生活をシンプルにすることによって苦悩する人々と共に歩めますように(灰の水曜日。本日からレント・四旬節)	3 新型コロナウイルスによって困難な状況におかれている方々、そして対応に関わるすべての保健医療従事者のため	4 教会の一致のため(本日、世界祈祷日*1)	5 岩本直美ワーカーのため(本日、報告会をオンラインで開催)
6 雨宮春子ワーカーのため(タンザニア)	7 JOCSの会員のため(特に香川県の会員のため。現在11名)	8 貧困や紛争の中に置かれている女性の健康が守られるように(本日、国際女性デー*2)	9 関西事務局の働きのため	10 JOCSの財務のため(本日、会計監査)	11 東日本大震災および放射能汚染の被災者のため。(本日、震災から11年)	12 東日本大震災でJOCSが支援した諸活動の現在の働きのため
13 ラルシュ・マイメンシン(バングラデシュ)のため、リーダーを担うロナとゴウトムのため	14 オンラインによる諸活動の充実のため	15 使用済み切手収集活動のため	16 新しいワーカーが与えられるように	17 シロアムプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ケニア)	18 ママ・ナ・ムトプロジェクト(協働プロジェクト)のため(タンザニア)	19 理事会のため(本日、定例理事会開催)
20 事務局スタッフのため	21 人種による差別や偏見がなくなるように。そのために働く人々のため(本日、国際人種差別撤廃デー*3)	22 すべての人にきれいな水が平等にいきわたるように(本日、世界水の日*4)	23 地区JOCSの働きのため	24 結核に感染している人々のため、結核の予防・治療に関わる人々のため(本日、世界結核デー*5)	25 選挙管理委員会のため(本日、委員会を開催)	26 会報誌「みんなで生きる」のため
27 JOCSの奨学生のため(特にタンザニアの奨学生のため。現在28名)	28 新型コロナに対する公正な医療アクセスのため	29 感染症に関する緊急医療活動支援先のため(インドネシア・タイ・ネパール・タンザニア・バングラデシュ・ケニア)	30 JOCSに協力するボランティアの方々のため(自宅待機中)	31 会員・支援者の増強のため		

*1: World Day of Prayer: 世界170の国において、教派を超えて同じテーマで祈る日。日本でも各地で集いが開催される。今年の祈りの主題は、「わたしは、あなたのために立てた計画をよく心に留めている」。イングランド、ウェールズ、北アイルランドの女性たちがテキストを準備した。

*2: International Women's Day

*3: International Day for the Elimination of Racial Discrimination

*4: World Day for Water

*5: World TB Day

祈りの項目

岩本直美ワーカーより: コロナ禍の影響で収入が減り困窮し、不安と孤独を感じている人たちのために。



みことばの黙想

2022年3月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、出典箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日(火) マルコ 8:27-35

イエスは弟子たちに尋ねた。「あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」

2日(水) マタイ 6:1-6,16-18 † 灰の水曜日

イエスは言われた。「断食するとき、頭に油をつけ、顔を洗いなさい。あなたの断食が人に気づかれず、隠れたところにおられるあなたの父に見ていただくためである。」

3日(木) 箴言 4:23

何を守るよりも、自分の心を守れ。そこに命の源がある。

4日(金) マタイ 11:2-11

イエスは洗礼者ヨハネの弟子たちに言われた。「行って、見聞きしていることをヨハネに伝えなさい。目の見ええない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている。」

5日(土) 1コリント 3:18-23

パウロは記す。「一切はあなたがたのもの、あなたがたはキリストのもの、キリストは神のものなのです。」

6日(日) ルカ 5:1-11

イエスは悪魔に答えられた。「こう書いてある。『人はパンだけで生きるものではない。』」

7日(月) マタイ 18:1-10

イエスは言われた。「これらの小さい者を一人でも軽んじないように気をつけなさい。言っておくが、彼らの天使たちは天でいつもわたしの天の父の御顔を仰いでいるのである。」

8日(火) ルカ 6:12-19

そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。

9日(水) エフェソ 3:14-21

どうか神が、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めて、信仰によってあなたがたの心の内にキリストを住まわせてくださるよう

10日(木) イザヤ 29:15-21

主が来られるその日には、耳の聞こえない者が書物に書かれている言葉をすら聞き取り、盲人の目は暗黒と闇を解かれ、見えるようになる。苦しんでいた人々は喜び祝い、貧しい人々は喜び踊る。

11日(金) ヨハネ 6:35-40

イエスは言われた。「わたしが天から降(くだ)って来たのは、自分の意志を行うためではなく、わたしをお遣わしになった方の御心を行うためである。」

12日(土) ヤコブ 1:5-8

ヤコブは記す。「神は、だれにでも惜しみなく、とがめだてしないでお与えになります。」

13日(日) ルカ 9:28-36

イエスはペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて、祈るために山に登られた。祈っておられるうちにイエスの顔の様子が変わった。雲が現れ、彼らを覆った。彼らが雲に包まれたので、弟子たちは恐れた。すると雲の中から声がした。「これはわたしの子、選ばれた者。これに聞け。」

14日(月) 詩編 63

神よ、わたしの魂はあなたを渇き求めます。あなたを待って、わたしのからだは渇き果てています。あなたの慈しみは命にもまさる恵み。

15日(火) ルカ 4:42-44

イエスは言われた。「わたしは神の国の福音を告げ知らせなければならない。わたしはそのために遣わされたのだ。」

16日(水) エフェソ 6:18-20

どのような時にも、霊に助けられて祈り、すべての聖なる者たちのために根気よく祈り続けなさい。

17日(木) 1テサ 2:1-12

わたしたちは、福音をゆだねられているからこそ、このように語っています。人に喜ばれるためではなく、わたしたちの心を吟味される神に喜んでいただくためです。

18日(金) テトス 2:11-14

イエス・キリストがわたしたちのために御自身を献げられたのは、わたしたちをあらゆる不法から贖い出し、良い行いに熱心な民を御自分のものとして清めるためだったのです。

19日(土) ローマ 4:13-22

† 聖ヨセフ日
パウロは記す。「アブラハムは、希望するすべまなかったときに、なおも望みを抱いて、信じ、多くの民の父となりました。」

20日(日) 出エジプト 3:1-15

主は言われた。「わたしは、エジプトにいるわたしの民の苦しみをつぶさに見、追い使う者のゆえに叫ぶ彼らの叫び声を聞き、その痛みを知った。それゆえ、わたしはくだって行き、彼らを救い出す。」

21日(月) ヨハネ 3:22-30

洗礼者ヨハネは言った。「わたしはメシアではない。わたしはあの方の前に遣わされた者だ。あの方は栄え、わたしは衰えねばならない。」

22日(火) 出エジプト 13:17-22

荒れ野で、主はその民に先立って進み、昼は雲の柱をもって導き、夜は火の柱をもって彼らを照らされたので、彼らは昼も夜も行進することができた。

23日(水) エレミヤ 12:1-3a

エレミヤは言った。「主よ、あなたはわたしをご存知です。わたしを見て、あなたに対するわたしの心を究められました。」

24日(木) 1コリント 11:23-26

パウロは記す。「わたしがあなたがたに伝えたことは、主から受けたものです。あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。」

25日(金) 詩編 40:1-8

いけにえも供え物もあなたは喜ばれず、私の耳を開いてくださった。供え物も清めのいけにえもあなたは求められなかった。そのとき、私は言いました。「御覧ください。私はきました」。

26日(土) 詩編 30

主よ、あなたはわたしの嘆きを踊りに変えてくださいました。わたしの魂はあなたをほめ歌い、口を閉ざしません。わたしの神よ、とこしえにあなたに感謝をささげます。

27日(日) ルカ 15:11-32

放蕩息子の兄に向かって父親はこう言った。「お前の弟は死んでいたのに生き返った。いなくなっていたのに見つかったのだ。祝宴を開いて楽しみ喜ぶのは当たり前ではないか。」

28日(月) 詩編 62

どのような時にも神に信頼し、御前に心を注ぎ出しなさい。

29日(火) 知恵 2:23—3:1

神は人間を不滅な者として創造し、御自分の本性の似姿として造られた。

30日(水) 詩編 36

主よ、命の泉はあなたにあり、あなたの光に、わたしたちは光を見る。

31日(木) イザヤ 56:1-7

主は言われる。「主のもとに集ってきた異邦人は言うな、『主は御自分の民とわたしを区別される』と。すべて主の名を愛し、その僕(しもべ)となる人々を、聖なるわたしの山に導く。そして彼らはわたしの家の喜びの祝いに連なる。」